

作成日 2025年 12月 1日  
(最終更新日 20 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-995

課題名 : NCCH-1612 希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究 (MASTER KEY レジストリ研究)

### 1. 研究の対象

MASTER KEY レジストリ研究 (課題番号 2016-460 [NCCH1612] ; 以下、「本研究」という) に登録された患者さんを対象とします。

### 2. 研究期間

2020年1月 (研究実施許可日) ~2036年3月31日予定

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026年1月15日

提供開始予定日 : 2026年1月15日

### 4. 研究目的

本研究では、希少な造血器腫瘍の患者さんの詳細な臨床情報やバイオマーカー情報を収集し、得られたレジストリデータを用いて将来の研究や薬事承認の申請資料等に活用することを目的としています。さらに、レジストリで得られたバイオマーカー情報をもとに、臨床試験へ参加する機会を提供し、より多くの希少がん患者さんに治療選択肢を増やすことを目的としています。造血器腫瘍はすべてが希少がんに該当するため、造血器腫瘍と診断され、腫瘍組織の遺伝子プロファイル検査や分子学的検査 (免疫組織化学染色、FISH 等) を実施された方が本研究の対象となります。

### 5. 研究方法

本研究では、既にあるデータを用いますので、新たに検査等をすることはありません。本研究に登録後は、進行中の副試験※の適格規準を満たす場合は該当する副試験に参加可能となります。副試験の適格規準を満たさない、又は同意が得られない場合は、本レジストリ研究のみの登録となり、その後の治療内容などを追跡し、さらなる臨床情報やバイオマーカーを収集させていただきます。

※副試験 : 本研究において実施する、複数の臨床試験 (医師主導治験及び企業治験) です。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 診療録番号、生年月日、性別、診断名、組織学的分類、遺伝子解析や蛋白発現解析結果、治療内容、治療効果、等

試料 : なし

### 7. 外部への試料・情報の提供

情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。また、対応表は、提供元の共同研究機関の研究責任者が保管・管理します。

あなたのデータを含む研究に関するデータや情報について、現段階でどの国に提供されるかは決まっていますが、提供先が外国の研究機関や外国企業の場合には、EU及び英国や、日本と同等の個人情報の保護に関する制度を有しない国または地域であっても、CBPR認証システム（アジア太平洋経済協力（APEC）が作った制度）を採用している国や地域の研究開発施設に提供する可能性があります。その国でのプライバシー保護規定が定められていることを確認した上で、あなたを特定できる情報を含まない形にして提供いたします。各国の個人情報保護に関する制度は以下で確認できます

(<https://www.ppc.go.jp/personal/info/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>)。

本研究で得られたデータを、共同研究機関とその関連機関の担当者、厚生労働省などの国内規制当局及び海外の規制当局（アメリカ食品医薬局（FDA）、欧州医薬品庁（EMA）など）とその関連機関など院以外に提供する場合がありますが、その際には、データが誰のものなのかは一切わからないようにした状態で提供します。

また、本研究で用いた情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

- ・ 国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

[https://www.ncc.go.jp/jp/about/research\\_promotion/study/zisshi.html](https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html)

さらに、国内外の多くの研究者に利用していただくために、この研究で得られたデータを、将来的に以下のような公的なデータベースやバイオバンクに提供する可能性があります。

- ・ 独立行政法人科学技術振興機構（JST）バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）が運営する「ヒトデータベース」
- ・ 日本医療研究開発機構の事業で構築されるデータベースである AGD (AMED Genome group sharing Database)、MGeND (Medical Genomics Japan Database)、CANNDs (Controlled shAring of geNome and cliNical Datasets)
- ・ アメリカ国立衛生研究所が運営する dbGaP (database of Genotypes and Phenotypes) 等

## 8. 研究組織

研究機関名	所属	研究責任者氏名
国立がん研究センター中央病院	臨床研究支援部門/先端医療科/呼吸器内科	山本 昇（研究代表者）
京都大学医学部附属病院	腫瘍内科	武藤 学
北海道大学病院	腫瘍内科	木下 一郎
東北大学病院	腫瘍内科	川上 尚人
九州大学病院	腫瘍内科	馬場 英司
国立成育医療研究センター	血液腫瘍科	富澤 大輔
愛知県がんセンター	薬物療法部・臨床試験部	安藤 正志
都立駒込病院	腫瘍内科	下山 達
富山大学附属病院	腫瘍内科・緩和ケア内科	林 龍二
岡山大学病院	血液・腫瘍内科	前田 嘉信
近畿大学病院	腫瘍内科	林 秀敏

JCOG 骨軟部腫瘍グループ 参加施設（JCOG の WEB ページ参照：  
[https://jcog.jp/partner/group/mem\\_bsttsg/](https://jcog.jp/partner/group/mem_bsttsg/)）

なお、JCOG 骨軟部腫瘍グループは、MASTER KEY-Bone Protocol に基づいて進行・再発悪性骨腫瘍に限り登録します。

国立病院機構北海道がんセンター	平賀 博明
札幌医科大学	江森 誠人
福島県立医科大学附属病院	松本 嘉寛
栃木県立がんセンター	菊田 一貴
埼玉県立がんセンター	五木田 茶舞
自治医科大学附属さいたま医療センター	秋山 達
国立がん研究センター東病院	中谷 文彦
千葉県がんセンター	米本 司
杏林大学医学部	森井 健司
慶應義塾大学病院	中山 ロバート
がん研究会有明病院	阿江 啓介
東京大学医学部	小林 寛
横浜市立大学附属病院	根津 悠
神奈川県立がんセンター	竹山 昌伸
新潟県立がんセンター新潟病院	畠野 宏史
新潟大学医歯学総合病院	川島 寛之
福井大学医学部附属病院	松峯 昭彦
信州大学医学部	岡本 正則
岐阜大学医学部	永野 昭仁
静岡県立静岡がんセンター	片桐 浩久
名古屋大学医学部	西田 佳弘
三重大学医学部	浅沼 邦洋
京都府立医科大学附属病院	白井 寿治
大阪国際がんセンター	竹中 聡
神戸大学医学部	秋末 敏宏
奈良県立医科大学	塚本 真治
広島大学病院	古田 太輔
香川大学医学部	西村 英樹
国立病院機構九州がんセンター	薛 宇孝
久留米大学医学部	平岡 弘二
九州大学病院	遠藤 誠
九州労災病院	松延 知哉
大分大学医学部附属病院	河野 正典
鹿児島大学病院	永野 聡
琉球大学病院	當銘 保則

## 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

この研究の運営資金は複数の製薬企業から共同研究契約に基づき資金提供を受けて運営されており、特定の企業に依存しておりません。よって本研究組織全体と資金提供企業との間には、研究結果に影響を及ぼすような利益相反はないと考えます。本研究の結果に影響を及ぼすことがないように、研究の透明性、信頼性の確保を図りながら研究を実施します。

資金提供企業は以下の通りです（一度でも資金提供を受けた企業については現時点での資金提供の有無に関わらず記載を残しています）。

共同契約締結企業

アステラス製薬株式会社	2017年4月～
エーザイ株式会社	2017年4月～
小野薬品工業株式会社	2017年4月～
杏林製薬株式会社	2017年4月～ 2021年3月
第一三共株式会社	2017年4月～
大鵬薬品工業株式会社	2017年4月～
武田薬品工業株式会社	2017年4月～
中外製薬株式会社	2017年4月～
ノバルティスファーマ株式会社	2017年4月～ 2024年3月
ファイザーR&D 合同会社	2017年4月～ 2024年3月
ブリistol・マイヤーズスクイブ株式会社	2017年4月～ 2018年3月、 2019年4月～
Ignyta 社	2017年4月～ 2019年3月
大塚製薬株式会社	2019年4月～ 2025年3月
バイエル薬品株式会社	2019年5月～ 2021年3月
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	2021年8月～
シンバイオ製薬株式会社	2022年4月～
メルクバイオフーマ株式会社	2022年4月～ 2023年3月
日本セルヴィエ株式会社	2022年7月～
MSD 株式会社	2025年4月～

なお、今後、この研究へ参加する企業に変更が生じることも予想されます。変更があった場合には国立がん研究センターのホームページ（[ncc.go.jp](http://ncc.go.jp)）でお知らせします。また、本研究は、日本医療研究開発機構「希少がんのAMED 治験促進事業（米盛班）」を財源とします。

本研究の研究責任者である川上尚人教授は、小野薬品工業(株)、ブリistol・マイヤーズスクイブ(株)、第一三共(株)及び武田薬品工業(株)より兼業収入を得ています。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が

生じた場合は所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等と利害関係についての公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院 腫瘍内科 西條 憲

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7879

当機関の研究責任者：東北大学病院 腫瘍内科・川上 尚人

研究代表者：

国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 米盛 勸

## ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合